

ヤマダ電機グループ 場面を見学することが
の東金属（群馬県太田）でできる。作業工程ごと
市、太田伸一社長、**〇**に色分けされているな
0276・56・111ど、誰が見てもわかり
21）は8月末、小型 やすいと思えるような
家電リサイクル工場で見学ルートとなった。

事業の「見える化」を 再資源化工程を表した
行った。来春から、自 処理フローや、その最
治体や小中学生らの工 中で回収できる素材を
場見学を積極的に受け 展示。破碎・選別工程
入れ、再資源化事業の のエリアでは、破碎機
重要性を広める。検品 や選別機の内部の状況
ライン、手解体ライン、 がわかる映像も見るこ
破碎・選別ラインの処 とができる。

理工程が順番に見学で 今後、通路の付近で
きる通路を後付けでは 手解体作業を行うこと
ないものとして設計 でき、再資源化を間近で
し、安全面を最重視し 見られるようにするな
どを設置した。

この通路では、ガラ いる。自治体や教育委
ス越しに小型家電リサ 員会への周知も行って
イクルが行われている おり、多くの人々に自

東金属

小型家電工場の「見える化」実施

小中学生の見学想定で安全設計 資源回収の重要性を広める

社事業を知ってもらう 内容の説明と資源循環
方針だ。 周困への情報公開の 重要性を広め続けて
取り組みはこれだけで いる。今年も出展する
はない。同社は現在、 予定だ。

は約1000店舗で、 事業面でも好調に操
太田市で毎年行われて 業している。今春に導
入した、製品品質を高 フュスティバル」に連
上させるための選別設 備も予定通り稼働して
体や周辺住民への事業 いる。全国1000店



新設した見学通路

舗以上あるヤマダ電機 戒し続けている。
グループ店舗で回収し 今後は生産する製品
た小型家電を安定して のさらなる品質向上を
再資源化。今年も年間 狙う。そのうえで、グ
100万台、重量ペー ループの拡大による回
スで約1万トを見込ん 収範囲の拡大にも対応
ている。店頭回収やり しながら、グループ外
ユースによる顧客の利 からの回収にも視野を
便性を確保しながら、 向けていく。

環境貢献として再資源 宮下徹専務取締役は
化も担う。 「当社のリサイクル工
場は、いつ誰が見ても
なっているリチウムイ きれいな工場であるこ
オンバッテリー（LiB） とを目標にしている。
への対策も先進的に行 今回の見える化で、子
ってきた。検品ライン どもたちから取引先ま
でバッテリー類を事前 で工場を公開し、小型
に取り外してから手解 家電リサイクルの再資
体を行う他、回収を行 源化の重要性と難しさ
っている店頭でのLiB を知ってもらおう機会
の有無を意識した選別 一つとして活用してほ
など、発火リスクを警 しい」と述べた。

工場系・使用済み製品・金属類